

戦略研究学会 秋季講演会・学術研究成果発表会

《共催／明治大学MOS研究所》

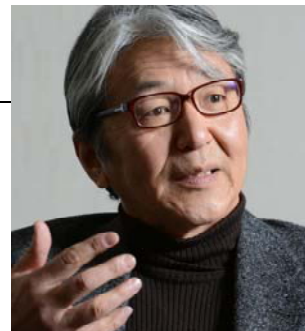
- 日時 平成30年12月1日(土) 1300～1700
- 会場 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー地下1階1001教室
- 共通テーマ **「米朝協議の評価と展望」** (基調講演・パネル討論)
- プログラム
〈全体司会〉奥山真司 (国際地政学研究所、戦略研究学会理事兼大会・研究会委員長)

1300～1400 基調講演

藪中三十二氏 (立命館大学客員教授、元外務事務次官)

「東アジアと日本

—トランプ政権がもたらす大変革の国際環境と日本の新戦略を考える—



1400～1545 パネル討論

〈司会〉小野圭司 (防衛研究所、戦略研究学会理事)

一橋大学教授

聖学院大学教授

関西学院大学教授、本学会理事

藪中三十二氏

秋山信将氏

宮本 悟氏

井上一郎氏



※講師プロフィールは裏面をご覧ください

1555～1700 **学術研究成果発表会**

- ①澤田寛人 (防衛省防衛研究所研究員) 「コミットメント問題としての『人道的介入の逆説』
—戦争の交渉モデルとリビアの事例—
- ②安藤詩緒 (常葉大学経営学部講師) 「経済学的視点から見た日本の防衛産業とその政策」

※終了後、**懇親会・忘年会**を開催します

(会場：明治大学アカデミーコモン1階「カフェパンセ」)

●参加費(資料代) 会員1,000円 非会員1,500円 (懇親会費3,500円) ※当日徴収

●この講演会は、**事前登録優先**です。

当日参加も可能ですが、**定員(250人)**になり次第締め切りますので事前登録をお願いします。

【事前登録方法】

①**戦略研究学会**サイトからお申込ください <http://www.j-sss.org/>

②**FAX・メール**でも受付けます。

「氏名、会員・非会員の別、所属・職位、住所、電話番号、懇親会参加・不参加」をお知らせ下さい。

戦略研究学会 事務局

113-0033 東京都文京区本郷 3-3-13 TEL 03-3813-4466 FAX 03-3813-4615

<http://www.j-sss.org/> 事務局アドレス jimukyoku@j-sss.org

藪中三十二 (やぶなか みとじ)

立命館大学客員教授、元外務事務次官

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国在勤の後、北米第二課長(日米経済摩擦担当)、国際戦略問題研究所主任研究員(ロンドンIISS)、ジュネーブ代表部公使、外務本省総務課長、アジア局審議官を経て、在シカゴ総領事。2002年よりアジア大洋州局長(六者協議首席代表)、外務審議官(経済担当・G8サミット・シエルパ)、外務審議官(政務担当)を経て、2008年に外務事務次官。2010年外務省退官後、立命館大学客員教授、大阪大学特任教授。また、「グローバル寺子屋敷中塾」を主宰。

【近著・論文等】

- ・『核と戦争のリスク 北朝鮮・アメリカ・日本・中国 動乱の世界情勢を読む』(佐藤勝志と共著、朝日新書、2017年)
- ・『トランプ時代の日米新ルール』(PHP新書、2017年)
- ・『世界に負けない日本』(PHP新書、2016年)
- ・『日本の針路—ヒントは近隣外交の歴史にあり』(岩波書店、2015年)
- ・『国家の命運』(新潮新書、2010年)
- ・『対米経済交渉—摩擦の実像』(サイマル出版会、1991年)

秋山 信将 (あきやま のぶまさ)

一橋大学大学院法学研究科教授

国際研修交流協会(平成2~10年)、広島市立大学広島平和研究所(平成10~16年)、日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター(平成16~19年)、一橋大学准教授(平成19~24年)、同教授(平成24~28年)、在ウィーン国際機関日本政府代表部公使参事官(平成28~30年)等を経て、平成30年より一橋大学大学院法学研究科教授兼国際・公共政策研究部教授。専門は国際政治学、国際安全保障、核軍縮・不拡散、安全保障、国際レジーム、国際制度。一橋大学博士(法学)。

【近著・論文等】

- ・"Exercising power within an international organization: Japan's diplomacy toward the United Nations reform in the 1990s and 2000s," Guibourg Delamotte, ed., *Japan's World Power: Assessment, vision and outlook*. (Routledge, 2017)
- ・「核兵器不拡散条約の成り立ち」秋山信将編著『NPT—核のグローバルガバナンス』(岩波書店、2015年)
- ・"Japan's Nuclear Disarmament Dilemma the Hoover Institution," George Shultz & James Goodby eds., *War That Must Never Be Fought: Dilemmas of Nuclear Deterrence* (Hoover Institution Press, 2015).

宮本 悟 (みやもと さとる)

聖学院大学政治経済学部教授

1992年同志社大学法学部卒。1999年ソウル大学大学院政治学科修士課程修了(政治学修士号取得)。2005年神戸大学大学院法学研究科博士後期課程修了[博士号(政治学)取得]。日本国際問題研究所研究員、聖学院大学総合研究所准教授を経て、現在、聖学院大学政治経済学部教授。専門は国際政治学、安全保障論、比較政治学、朝鮮半島研究。

【近著・論文等】

- ・「国連安保理制裁と独自制裁」中川雅彦編『国際制裁と朝鮮社会主義経済』(アジア経済研究所、2017年)
- ・「北朝鮮とイランの軍事協力—北朝鮮の対中東軍事協力政策における位置づけ」『防衛学研究』第57号(2017年9月)
- ・「北朝鮮流の戦争方法—軍事思想と軍事力、テロ方針」川上高司編『「新しい戦争」とは何か—方法と戦略』(ミネルヴァ

書房、2016年)

- ・「北朝鮮の軍事・国防政策」木宮正史編『朝鮮半島と東アジア(シリーズ日本の安全保障6)』(岩波書店、2015年)
- ・「朴槿恵政権の対北朝鮮政策と今後の展望」猪口孝編『日本と韓国—互いに敬遠しあう関係』(原書房、2015年)
- ・『北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起きないのか?—政軍関係論で読み解く軍隊統制と対外軍事支援』(潮書房光人社、2013年)

井上 一郎 (いのうえ いちろう)

関西学院大学総合政策学部教授、戦略研究学会理事

昭和59(1984)年関西学院大学法学部卒業、平成17年タフツ大学フレッチャースクール法律外交大学院修了(国際関係学修士)、平成23年同大学院修了(法律外交学修士)。昭和61年外務省入省。外務省では主に对中国関係を中心とした業務に従事。在中国日本大使館勤務、在広州日本総領事館勤務、アジア大洋州局中国課課長補佐等を歴任。平成21年外務省退職。関西学院大学准教授(平成23~28年)を経て、平成28年より関西学院大学総合政策学部教授。この間、慶應義塾大学SFC研究所上席訪問所員(平成21~23年)。専門は国際関係論、外交政策分析、中国政治、中国外交・安全保障政策。

【近著・論文等】

- ・「中国外交研究への理論的アプローチ」『総合政策研究』第52号(2016年9月)
- ・「危機と中国の対外政策決定—エスカレーションの意識と構造」『戦略研究』第16号(2015年4月)
- ・「政権交代における中国外交の変化と継続性—江沢民政権との比較における胡錦濤政権の対日政策」『国際政治』第177号(2014年10月)

会場案内

明治大学駿河台キャンパス

東京都千代田区神田駿河台1-1

※御茶ノ水駅(JR中央線・地下鉄丸ノ内線)、新御茶ノ水駅(地下鉄千代田線)、神保町駅(地下鉄都営新宿線・半蔵門線)下車。

